

主催：T-Base-Life



ミミヤマミシンの曾田朋子氏による着る遊具で遊ぶワークショップ



## ものづくりを通じたコミュニケーションと地域課題解決にむけて

「ものづくりとルーツをたどる時間旅行」では「ものづくりを通じたコミュニケーション」「地域課題解決」「マイナスからプラスへの価値変換」をキーワードに6つの事業を実施しました。こども“こけし”づくりワークショップでは、三条市在住のイラストレーター・しおたまこ氏と一緒に自分のアイコンとなるような、ユニークなこけしを作ってもらいました。大阪在住のミミヤマミシンの曾田朋子氏には、作品展示と「ミミヤマミシン“着る遊具”で遊ぶワークショップ」を開催していただきました。ワークショップは、会話が生まれコミュニケーションツールにもなる作品を触ったり、身に着けたりしながら想像力を働かせるというもので、子供から大人まで楽しむ様子が見られました。地域の課題を魅力に変える「減災アート」では、災害リスク(放火される可能性)が高いという分析結果が出た天明町内の公園に作品展示しました。これは住

民の公園への関心を高め、愛着を持ってもらうための取り組みでした。展示最終日のライトアップは、地域住民にとっても好評で、地域の新たな防災活動として今後も継続していく予定です。「古いものをリメイクした作品展示&リメイクバッグづくりワークショップ」と「ダーニング体験ワークショップ」では、タンスの中に眠った古い着物や洋服を蘇らせるプロジェクトでした。T-Baseのテーブルを囲んで古いものに手を加え、新たな価値を作っていく作業は世代間を越えた楽しいおしゃべりが絶えず続いていました。天明町でのT-Base-Lifeのプロジェクトは始まったばかりですが、今回の市民プロジェクトで生まれた繋がりを大切に紡いで未来に繋げていきたいと思えます。

(文：天本)

- 7月28日(土)～7月30日(日) イラストレーターしおたまこによる「こども“こけし”づくりワークショップ」(天明会館)
- 8月11日(土・祝)～8月19日(日) ミミヤマミシン曾田朋子作品展(T-Base)
- 9月22日(土)～10月8日(月・祝) 地域の課題を魅力に変える「減災アート」(天明公園)他